

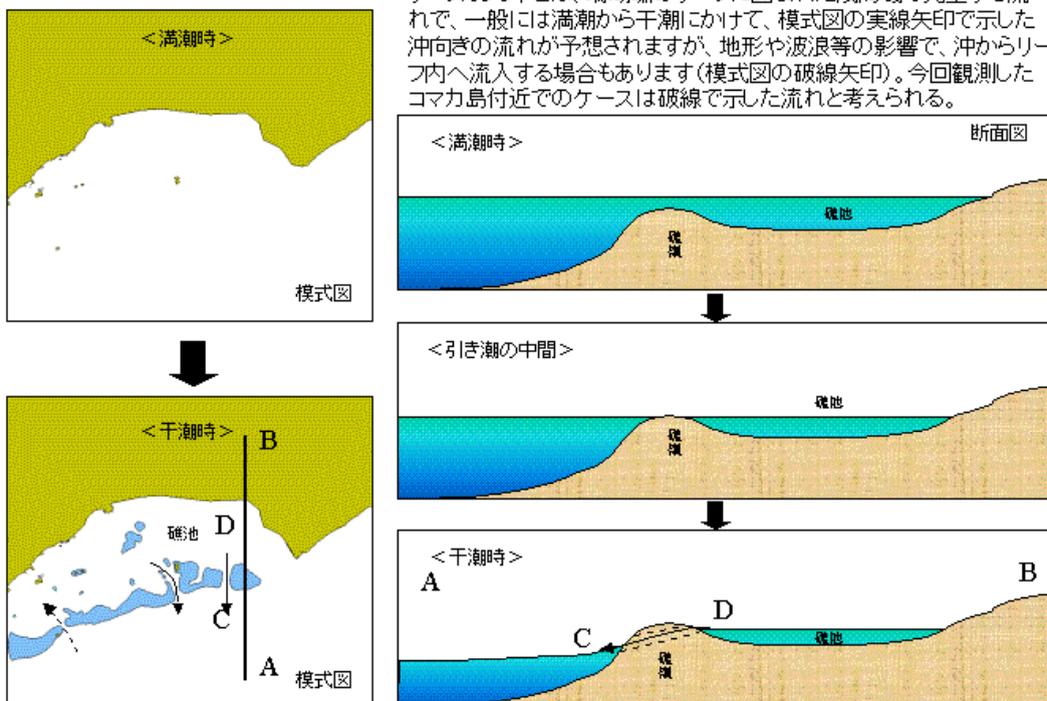
マリネジャー事故防止のための急潮流観測について

珊瑚礁に形作られた青く美しい沖縄の海では、ダイビング、サーフィン等のマリネジャーが盛んです。その一方でダイビング、サーフィンの愛好者が珊瑚礁海域の急潮流により沖合に流される事故がたびたび発生しています。

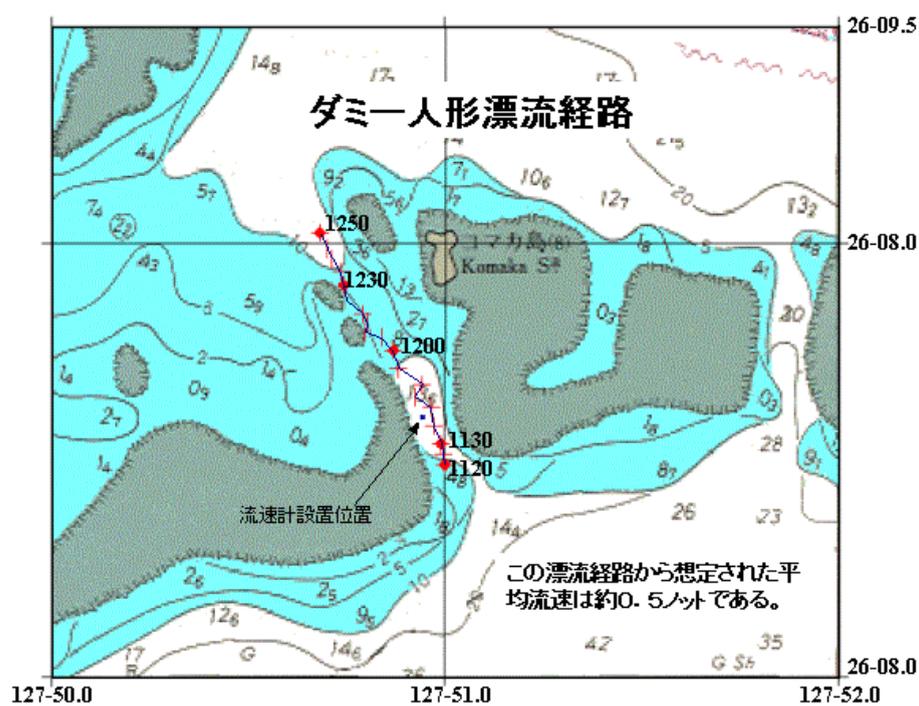
このため、当管区ではこのような急潮流観測を実施し、その実態を解明するとともに、得られた情報をインターネット等で提供し、マリネジャーの事故防止に役立てたいと考えています。

<リーフカレント発生のおくみ>

リーフカレントとは、珊瑚礁のリーフに囲まれた浅海域で発生する流れで、一般には満潮から干潮にかけて、模式図の実線矢印で示した沖向きの流れが予想されますが、地形や波浪等の影響で、沖からリーフ内へ流入する場合があります(模式図の破線矢印)。今回観測したコマカ島付近でのケースは破線で示した流れと考えられる。

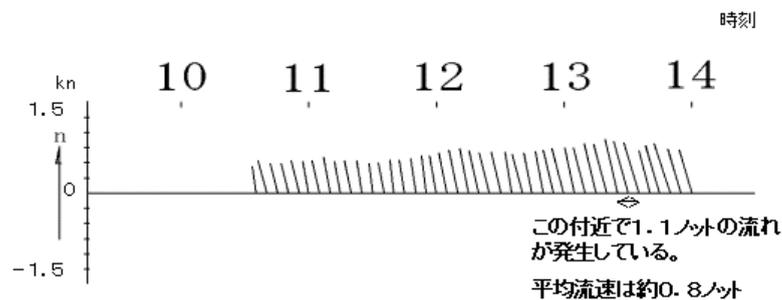


このたび、第十一管区海上保安本部では、2002年8月9日の大潮時にコマカ島付近において急潮流観測を実施しました。今回の観測では、人に見立てたダミー人形を漂流させるとともにリーフ内に流速計を設置し、急潮流の流向、流速を計測しました。



観測時間帯は、満潮から干潮に向かう急潮流が予測される時間帯で、この時間帯では、通常はリーフ内から沖合への急潮流を予想していましたが、コマカ島付近では当初の予想に反し、逆方向の沖合からリーフ内へ最大1.1ノット、平均0.8ノットの潮流が発生していることがわかりました。

流れの経時列変化図



今回の観測結果はリーフ内における急潮流の発生機構が単純ではなく、地形要素や海流等の影響を受けて、かなり複雑な仕組みがあることを示唆するものと考えられます。